

## 令和4年度事業報告

令和4年度のいわて花巻空港の利用者数は、380,706人（前年度比184.9%、令和元年度比78.5%）と、令和3年度実績を上回るものの、新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年度の水準には戻っていない状況にある。

国内線については、令和4年度の国内定期便の利用実績が372,746人となり、前年度（200,410人）比186.0%、172,336人の増加となったが、令和元年度（438,405人）比85.0%、65,659人の減少となった。

要因としては、依然としてコロナの収束には至っていないものの、感染症対策と社会経済活動の両立に向けた動きが進み、行動制限の緩和や国の観光需要喚起策（全国旅行支援）が実施されたこと等が考えられる。

国際線については、令和2・3年度に引き続き運航がなかったものの、日本及び就航先において水際対策の緩和が進んだことから、航空会社に対し運航再開を働きかけるとともに、花巻空港における受入態勢を準備し、台北線について令和5年5月10日から運航再開されることとなった。

### 主な事業実施内容

#### 1 国内定期便等利用促進事業

- (1) 国内旅行商品造成支援事業
- (2) 定期路線支援事業
- (3) 情報発信・PR事業（県内）
- (4) エアポートセールス
- (5) 航空会社との情報交換等

#### 2 国際定期便等利用促進事業

- (1) エアポートセールス
- (2) インバウンド利用促進
- (3) その他（情報収集等）

#### 3 陳情・要望活動等

- (1) 日本航空への要望活動
- (2) フジドリームエアラインズへの要望活動